

社会学研究科

【修士論文審査基準】

(学位申請資格)

修士の学位を申請することのできる者は、次に掲げる資格を全て満たす者とする。

- (1) 博士前期課程(修士課程)に2年以上在学し(見込みを含む。)、必要な研究指導を受けた上で、学則に定める修了所要単位を修得する見込みである者
- (2) 在学中である者
- (3) 研究指導教員から学位申請の承認を得ている者

(修士論文の審査)

修士論文の審査項目は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 研究成果の妥当性
 - ① 研究の目的を十分に理解していること。
 - ② 問題意識が明確であること。
 - ③ 研究テーマに、新規性、進歩性、有用性、独創性等が備わっていること。
- (2) 情報収集能力
 - ① 研究テーマに関して十分な文献及び資料並びに研究動向の調査が行われていること。
 - ② 先行分野の整理が十分に行われていること。
- (3) 研究遂行能力
 - ① 研究の進め方や研究方法について十分な検討がなされていること。
 - ② 研究テーマについて適切な問題分析が行われていること。
- (4) 論文作成能力
 - ① 論文の体裁が整っていること。
 - ② 章立てを含めた論述の流れが適切であること。
 - ③ 問題意識に対して論証が適切に行われていること。
 - ④ 引用文献の表記が適切に行われていること。
- (5) 情報発信能力
 - ① 研究内容をわかりやすく口頭で説明できていること。
 - ② 質問に適切に答えることができていること。

【博士論文審査基準】

(博士学位申請資格)

課程博士の学位を申請することのできる者は、次に掲げる資格を全て満たす者とする。

- (1) 博士後期課程に3年以上在学し(見込みを含む。)、必要な研究指導を受けた上で、学則に定める修了所要単位を修得した者(見込みを含む。)
- (2) 別表1に定める課程博士学位申請基準を満たす者
- (3) 在学中である者

(4) 研究指導教員から学位申請の承認を得ている者

論文博士の学位を申請することのできる者は、次に掲げる資格を全て満たす者とする。

(1) 別表1に定める論文博士学位申請基準を満たす者

(2) 研究科専任大学教員（以下「専任教員」という。）の推薦がある者

博士号申請論文を提出する者は、学会誌掲載論文若しくはこれに準ずる業績を2編以上持つことを必要とする。

(博士論文の審査)

博士論文の審査項目は、次に掲げるとおりとする。

(1) 先行研究を十分にレビューした上で、適切な問題設定がなされている。

(2) 適切に選択された方法によって得られた、十分な証拠と明確な論証とにもとづいて、設定された問題に関する必要な考察がなされている。

(3) 図表、文献の引用、註等を含めて、論文が学術論文としての適切な体裁を備えている。
論文提出者は、学会誌掲載論文若しくはこれに準ずる業績を1編以上持つこと。

別表1 学位申請基準

課程博士学位申請基準	論文博士学位申請基準
博士号申請論文を提出する者は、学会誌掲載論文若しくはこれに準ずる業績を1編以上持つことを必要とする。	博士号申請論文を提出する者は、学会誌掲載論文若しくはこれに準ずる業績を2編以上持つことを必要とする。